ウィルオブ・コンストラクション社長

角（すみ） 裕一（ゆういち） 氏

この人に聞く

「幸せに働いてもらう」大事に

人材派遣を展開するウィルグループの子会社で、建設技術者の人材サービスを展開するウィルオブ・コンストラクション（横浜市港北区）を4月から率いる。土木や建築の施工管理技士をゼネコンなど建設会社に派遣しており、新卒者も積極的に採用。人材育成と定着に力を注ぎ、現場の担い手確保に貢献する。

◇

――就任の抱負を。

「建設業界は施工管理者の高齢化が大きな課題だ。次の担い手を育てなければいけない。若い世代が興味を持つような働き方ができる仕事に変えていきたい。人材業界は供給力が求められる。そこにもこだわるが、当社は特に定着を決めているが、より精度を高めていく。顧客評価の高い人や早期に辞める人の特徴などのビッグデータから紡ぎ出される傾向をマッチング要素に取り入れることを、今期から実験的に始める。実現には数年かかるだろうが、データがたまれば、ある程度できるはずだ。今年中には参考値程度でも顧客に説明できるようにしたい」

「エンゲージメント（仕事のやりがい）を高める取り組みにも力を入れる。施工管理業務に携わる社員たちを専任でフォローする体制を作る。コロナ禍で現状は難しいが、表彰や立食パーティーなどリアルな接点をもっと作りたい。職場の人とつながり、活躍できるようになると、仕事を好きになり、ハッピーに働ける。社員が幸せに働いてもらうことを一番大事にしたい」

――人材の確保・育成は。

「今春に131人を新卒採用した。ビジネスマナーや測量、CADなどの研修を実施している。長期的には、計画的に資格を取る形にしていこうと企画中だ。学ぶ機会や挑戦する機会を与え、受験費用も出すことを検討している。内定期間中から資格取得の勉強を始め、5年で1級の施工管理技士を取得できるようなカリキュラムを作りたい。自分のキャリアを徹底的に高めたい人に来てほしい」

「建設業は、どのような工事に従事したかが求められ、タレントマネジメントがはっきりしている。キャリアも資格もその人の物になり、活躍できると次の機会につながる。技術者が幸せに働けて、顧客もより多くの案件を手掛けられるような循環を作りたい。現在の社員は約700人だが、今後は1000人以上にしていきたい」。

【企業概要】東日本大震災の復興支援をきっかけに設立し、建設技術者の人材サービスを展開する。建設関係ウェブメディア「施工の神様」なども運営する。

◆経営方針は